

平成30年度 第58回 米子市美術展覧会(市展) 市展賞受賞作品講評

洋画部門

ふりがな	おおた みやび	ふりがな	おんこちしん
氏名又は 雅号	太田 雅	作品名	温故知新
<p>一目見て、ガルシア＝マルケスの「百年の孤独」を連想した。魔術的リアリズムといってよい画風は独特の個性が感じられ、完成度は今一つであるが、独創的な才能に溢れている。これからの活躍が、大いに期待される。是非とも頑張ってください。</p> <p>(評者:倉鋪 悠)</p>			
ふりがな	まつした しょうじ	ふりがな	おおがみやまじんじゃおくのみや (かみやどるやま)
氏名又は 雅号	松下 昇司	作品名	大神山神社奥宮(神宿る山)
<p>総評でも書いたが、難航の末に市展賞に決まった。完成度は今一つではあるものの、それを補ってあまりあるのびやかさ、おおらかさに満ちた空気感が選者の心を捕えた。早春を思わせる雪景色のなかをゆっくりと登って行く参拝者を、包み込むように間近い春の日差しが照らしている。作者の人柄が偲ばれる作品である。</p> <p>(評者:倉鋪 悠)</p>			

日本画部門

ふりがな	みなみかわ ひろこ	ふりがな	け し
氏名又は 雅号	南川 弘子	作品名	芥子
<p>絵に真摯に取り組まれ作者の確かなデッサン力と色彩感覚は素晴らしく、葉の色を工夫され花の色が引き立っています。岩絵具の利点を十分に生かした作品で、丁寧に目をこらして描写している的確な写生力が生んだ絵であり洗練された色調と画面の構成は素晴らしい。バックの調子を若干弱く描けばさらに花が引き立って見えると思われます。</p> <p>(評者:西尾 克己)</p>			

書道部門

ふりがな	さいき しゅんよう	ふりがな	わた ひ
氏名又は 雅号	斉木 春葉	作品名	渡る日の
<p>仮名の表現形式は、定番もあればそうではないスタイルも最近では出るようになりましたが、いずれにしても作者の意図はおそらく起承転を中心に書き、意表をつくように上部に結の部位を持っていったと思います。中には、文字と文字との連綿の手法に難点が見られたところもありますから、今後の精進をねがいます。</p> <p>(評者:船原 濤軒)</p>			
ふりがな	まつもと きゅうひん	ふりがな	とほのし
氏名又は 雅号	松本 弓濱	作品名	杜甫之詩
<p>唐の杜甫の詩を題材としている。横物の表現形式は、行と行が互いにひびき合い、左へ展開することがこの種の作品の完成度を定めることとなります。その基本の作書をよくふまえた、古典の香り高いすぐれた作品となりました。</p> <p>(評者:船原 濤軒)</p>			
ふりがな	かどわき ひろこ	ふりがな	かやしゅうこう
氏名又は 雅号	門脇 弘子	作品名	夏夜舟行
<p>明清の書風を基調にし、行に変化を持たせながら書き進められている。墨量が少し多いかと思えるが迫力も感じられ力強い作品となっている。</p> <p>(評者:藤山 雅鳳)</p>			

写真部門

ふりがな	はせがわ としこ	ふりがな	くうきょ
氏名又は 雅号	長谷川 利子	作品名	空虚
<p>組写真、横位置の構成が無駄なく一体感がある。町中の日常の断片をうまくとらえて作者のセンスが高い。中央の人物はポスターと思われるが、生きた人物の様に光のとらえ方で大変良い表現であり、プリント仕上げもうまい。市展賞に値する作品です。</p> <p style="text-align: right;">(評者: 福島多暉夫)</p>			

ふりがな	はまだ みきや	ふりがな	ひ
氏名又は 雅号	浜田 幹也	作品名	ある日
<p>これは気配写真の部類か、海岸のテトラのある風景をベースに遠くに位置する釣人に見る人の視線を集中させる表現は見事だ。モノクロプリントもこの作品に合った質感で作者の表現力の高さがうかがえる、いい作品です。</p> <p style="text-align: right;">(評者: 福島多暉夫)</p>			

工芸部門

ふりがな	とみた たかゆき	ふりがな	ふしきぞう
氏名又は 雅号	富田 隆之	作品名	節木増
<p>能面の対が1組と思つての審査対象でしたが、別々の物という事で甲乙が付けがたかった。木彫を視る真眼者が無い中での審査の結果「節木増」に決定した作品です。中々能面を使つての舞台での宴を鑑賞する機会も無くて勉強不足…ですが、作品から能に対しての面では有りますが、伝わる物を感じる作品です!!</p> <p style="text-align: right;">(評者: 安藤 釉三)</p>			

ふりがな	ふじやま つぐふみ	ふりがな	いちまつ
氏名又は 雅号	藤山 嗣文	作品名	市松
<p>細かい木片を大小、縦横に構造を組み合わせて楽しみながら、は作者には失礼だが、伝わって来る物が有る作品だと思いました。時を知らせるだけの品でなくて、時の前、後も知る事が出来るかなの作品です。</p> <p style="text-align: right;">(評者: 安藤 釉三)</p>			

彫刻部門

ふりがな	いけぐち たつや	ふりがな	
氏名又は 雅号	池口 龍哉	作品名	エンターテイナー
<p>カラフルな色彩となんとなく笑顔になる愛嬌のある顔のジンベエザメ。背中には、エンターテイナーに必要なモチーフがところ狭しと置かれ、にぎやかさを演出している。配置のアンバランスさも美しく、ゆうゆうと泳ぐジンベエザメに動きのアクセントを加えている。POPで楽しい作品である。</p> <p style="text-align: right;">(評者: 永江 靖幸)</p>			